

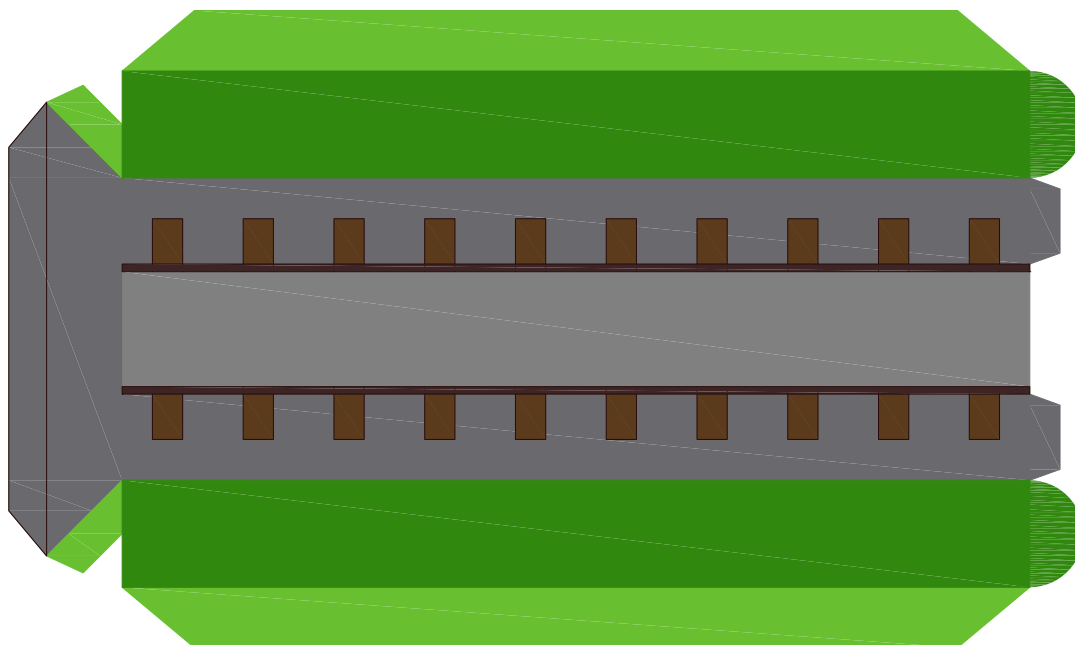
但馬ペーパークラフト②

但馬 一円電車

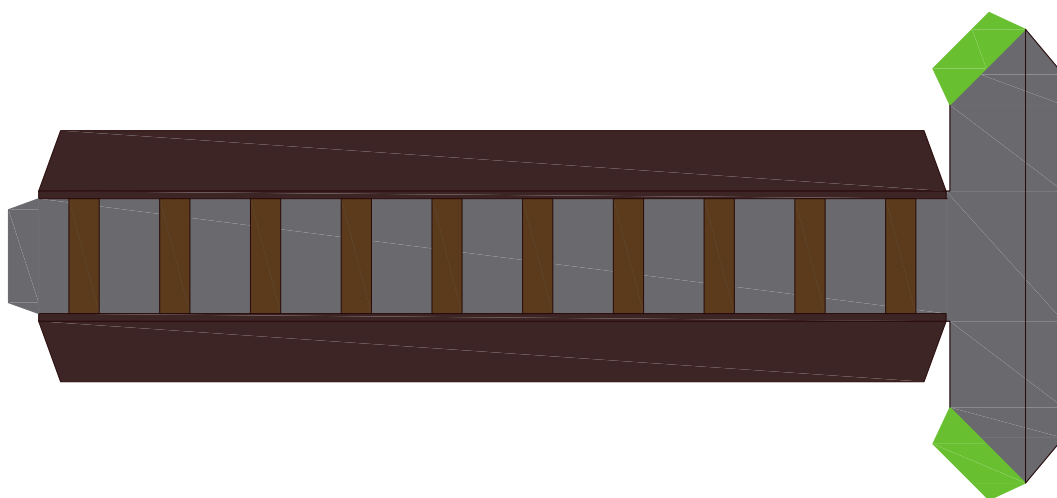
【近代化遺産・交通】

一円電車は、1929年～1985年に明延～神子畑間6kmを結んでいた明神電車の愛称です。当初は従業員運搬車両として使用されていましたが、後に客車を儲け一般乗客を運ぶようになりました。その後、利用者数を数えやすくするために運賃が1円となったのが、名前の由来です。

鉱山の閉山に伴い廃線になった後、車両の一部は明延鉱山学習館・あけのべ振興館・明延自然学校(養父市)、あさご道の駅・生野銀山(朝来市)に保存・展示されています。



1



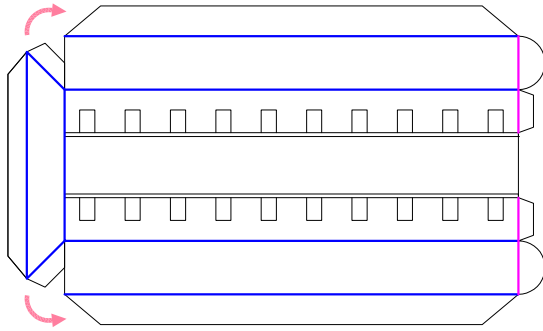
2

一円電車 オプション(ベース) 組立説明書

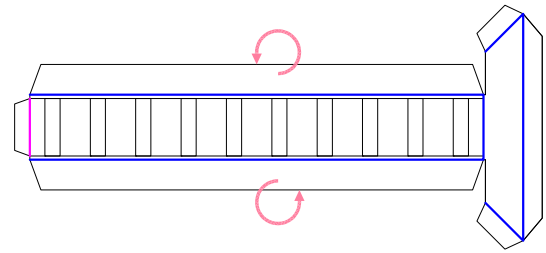
1

【ベース部分の作成】

- ・パーツ1の、—の部分を山折にし、矢印の部分を接着します。
- ・パーツ2の、—の部分を山折にし、矢印の部分を折り返して接着します。
- ・—の部分は複数のベースを連結(後述)する場合に必要ですが、単独の場合は切り取ります。

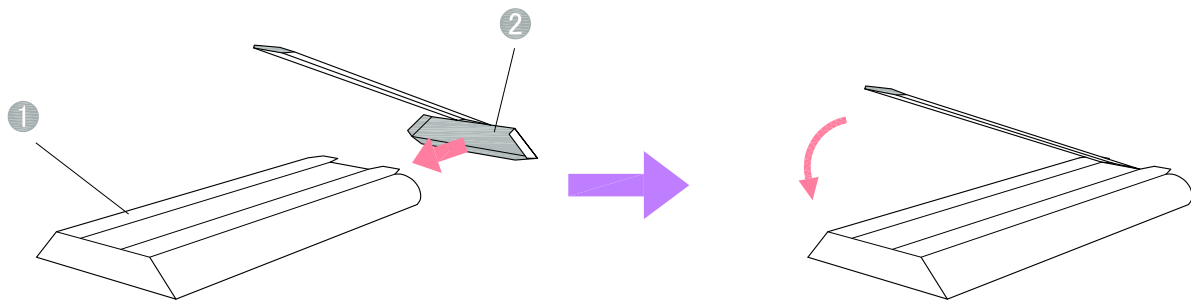


1



2

- ・パーツ1と2を図のように接着します。



- ・車両を接着します。車輪の裏面下部と段差を合わせるように接着します。
- ・ベースは複数連結する事も可能です。連結しない場合は上図の—の部分を切り取ります。
- ・くろがね号以外なら、だいたい2つのベースで3両くらい入ります。

